

Chairman's Correspondence

指導力について

生命の息吹が、子どもたちの成長を象徴するような、新緑の 5 月になりました。新入学の児童にとっては幼稚園や保育園と異なり、めまぐるしく環境が変わったことと思います。しかし、子どもたちの適応能力は高く、5 月にはもう小学校で運動会を迎えることとなります。

校訓の一つであります「指導力(リーダーシップ)」では、縦割りの活動を重視しています。

当校では、1 年生から 6 年生まで 3 つのグループ(グリーンハウス、レッドハウス、アイボリーハウス)のいずれかに所属しています。

リーダーは主に 6 年生で Prefect(プリフェクト)といい、事あるときはバッジや特別なワッパンの付いた「たすきを着用してリーダーシップを発揮します。

年度最初のハウスの活動が、ハウス対抗運動会です。

その他に、ハウス対抗マラソン大会や、ハウス交流活動、マイクカップなどがあります。

ハウスとは英国で本来「寮」のことを指し英国の全寮制のパブリックスクールの名残りでそう呼んでいるのです。これは、姉妹校であった英国のチルトンカレッジ小学校(コロナ後に解消)のみならず、英国では、普通に公立校でも行われている制度で、指導力の養成はさすがに痩せても枯れても大英帝国の名残を感じさせます。

日本では戦後、皆平等の精神が徹底し、学級長も無くなってしまいましたが、当校は私立校でありますから学級長、プリフェクト、バスリーダー、委員会委員長、クラブキャプテン等の制度があり、それぞれに権威をもっています。

そして当校では誰もがリーダーシップを発揮できるように配慮しています。

彼らはしかるべき待遇を受けるのですが、リーダーの常で自分の楽しみはさておき、下級生の面倒を見てハウス活動や、バス通学に貢献し、働く義務を負っております。そして下級生は上級生に憧れ、早くそうなりたいとその活動を羨望の眼差しで見えています。また、学期が変わり、リーダーを終えた子はフォロワーとしてチームに貢献する姿勢を学びます。



第 21 回の卒業生も、入学時とは見違えて立派なリーダーとして旅立っていきました。

春風のなか、新しい出会いと、今年度のさらなる成長を期待しつつ

リリーバールの新年度がスタートいたします。

Chairman's Correspondence

小学生は実体験を

デジタルを積極導入した海外の「教育先進国」で、子どもの学力低下や心身の不調が顕在化し見直しの動きが相次ぐ。反対に日本は学校教育の根幹にある教科書を紙からデジタルに置き換えようと突き進む。文部科学省が主導する推進議論の危うさを指摘する(読売新聞3月18日号一面, 見出しから)。

フィンランドではかつて世界第1位だった読解力, 世界2位の数学的応用力, 世界第1位の科学的応用力がそれぞれ14位, 20位, 9位へ落ちたのです。

『デジタル教育について』

海外の教育先進国	日本	リリーバール小学校
デジタル教育の見直しが相次ぐ。	公立学校で3年生からの小学校英語の必修化に続き, コンピュータを動かすためのプログラミング教育の必修化で, 公立小でも1年生からタブレットを使うようになりました。 	私は反対です。タブレットは4年生からでも充分です。 リリーバール小学校では4年生まで持たせません。  育脳的に言えば英語の発音や聞き取りは臨界期を越えた小学校3年生ではむしろ遅く, 幼児から始めないと効果が薄いです(※)。音楽や運動能力もしかり。これに対して, プログラミング教育はいつでも取得できるのです。何も小学校で必修にまでしてやらなくとも中高で充分取得できます。

(※)臨界期までの時間が何故貴重かというと, 感性の柔らかいうちに五感で学ぶことが有効だからです。ご存知のように8~9歳(臨界期)のIQと19歳のIQは変わりません(米国では実証されています)。IQとは器ですから, まず8~9歳までに器を伸ばす教育が大事ということです。

そのため小学校では時間があったら, 運動能力を養い, 絵を描き, 歌を歌い, 自然体験をし, 植物を育て, 言葉をしっかり聞き, 話し(英語も), 友達と遊んで時に喧嘩することが大事なのです。

五感を働かせて小学校時代に得るこの豊かな実体験こそが, 中学校に行って座学中心の勉強(論理性や, 情報教育)に生きてくるのです。脳科学的にも合理的です。チャット GTP などは13歳までは必要ありません。自分で考える思考力を育むことが大事です。

学力はIQではなく, HQ(人間性知能)の発達により向上していきます。成績はHQ(粘り強さ, モチベーション, 持続する力, ガマンできる力, 自己学習の習慣など)で決まっていくからです。

しっかりと基礎基本を反復し, 体験活動の多い学童クラブを活用していきましょう。

